

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月19日(土)①

担当部局・担当課名: 土木部港湾課

事業名	海王丸保存活用事業(公開事業・錬成事業分)	評価結果	抜本的改善
-----	-----------------------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・競争が足りない結果、事業内容が前例踏襲になり過ぎている。
- ・目標を大きく立て、それを達成するために戦略をもって工夫するべき。
- ・船を県が買い上げて、委託事業として実施すべき。
- ・事業の経済効果のデータをとるべき。
- ・補助要綱がなく、県が事業計画を査定する過程も不透明であるため、手続きの透明性を確保する仕組みが必要。
- ・県内各大学や高校で海王丸についての寄附講義を行い、そこでボランティア参加を呼び掛けてはどうか。

【県民評価者の意見】

- ・委託事業にするか、補助要綱を策定すべき。
- ・競争がなく、効果的な事業を実施する構造になっていないため、仕様の指定や補助条件の厳格化を検討してもよいのではないか。
- ・ボランティア募集、イベント実施にあたり、SNS等を活用して幅広い年代の人へ周知するべき。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	20
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (-)	役割分担 見直し (船の所有者・管理体制 の変更)	抜本的改善 (補助・委託等事業の 仕組みの見直し)	一部改善 (経費節減・情報公開 等部分的な見直し)	現行どおり ・拡充
	0	1	14	5	0
県民 評価者 の 主な コメ ント	評価結果と 同じ評価	【抜本的改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集をSNSやインターネットで見たことがない。養成講座を増やすより、まず幅広い年代の人から認知してもらう必要がある。 ・総帆展帆をボランティアのイベントとして考えるのであれば、“船舶オタク”のような人を増やす方法を考えるべき。 ・ボランティアに参加したくなるインセンティブを設けるべき。 ・ボランティア募集チラシは各市町村の広報に入れて配布した方がよい。 ・事業目的を、青少年育成ではなく観光(賑わい創出)とするべき。 ・イベントを大人も楽しめるものや集客できるものへ考え直した方がよい。 ・委託事業とするか、補助事業のままであれば補助要綱を策定できないか。 ・競争がない等の点において、事業が効果的な構造になっていない。 			
	上記以外	【役割分担見直し】 <ul style="list-style-type: none"> ・財団が主体となって実施し、県は補助的な役割に留まるべき。 【一部改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの募集方法や養成訓練実施回数に改善が必要。 			

【参考】委員による評価

委員総数	4
------	---

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	1	3	0	0

事業名	海王丸保存活用事業(公開事業・錬成事業分)	評価結果	抜本的改善
------------	-----------------------	-------------	-------

【県の対応】

今後の 対応方針	抜本的改善	事業内容見直し			
	○補助金交付要綱を策定し、事業の透明性確保を図る ○補助金交付申請時に事業実績及び事業成果の目標値を設定し、実績報告時にその達成状況を検証することとすることで、毎年度の事業改善につなげる ○ボランティアの募集、イベントの開催にあたっては、より多くの方に関心を持ってもらえるよう、県のSNS等を活用して周知を行う				
令和6年度 当初予算 での対応	R6当初予算 (要求額)	4,839(千円)	R5当初予算	4,987(千円)	増減額 ▲148(千円)
	増減理由	ボランティア募集やイベント開催のPRにSNS等を活用することに伴う印刷費等の減			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6 年度 当初 予算	要求 状況	要求額	4,839(千円)	前年度予算額	4,987(千円)	
		事業の目的	青少年の海への関心を高めるとともに、海王丸パークの賑わいを創出			
		事業内容	(公財)伏木富山港・海王丸財団が「海王丸保存活用等事業」として実施する次の事業へ補助 ①公開事業 帆船海王丸の総帆展帆、ボランティアの募集・養成、イベントの開催 ※官民協働事業レビューにおける指摘を踏まえ、ボランティア募集、イベント開催案内にSNS等を積極的に活用することとし、それに伴い従来のチラシの印刷部数を縮減 ②錬成事業 海洋教室・カッター教室の開催、海王丸絵画コンクールの開催			
		積算内訳	①4,040千円、②799千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、補助金交付要綱を策定し、事業の透明性確保を図るほか、事業実績及び事業成果の目標値の設定、検証、県のSNS等を活用した周知など、適切な見直しが行われている。				
	最終的 な 予算 案	予算額	4,839千円			
要求時点からの変更点		変更なし				